

2025年度 ナショナルチーム強化計画

公益財団法人 全日本空手道連盟 選手強化委員会

— 目 次 —

・全日本空手道連盟基本理念	P 1
・ナショナルチーム基本方針	P 2
・ナショナルチーム強化方針	P 3
・選手強化委員の構成と任務	P 4
・選手強化委員組織図	P 5
・2025年ナショナルチーム選手選考（国内・国外）	P 6
・2025年強化選手選考に係る免除選手の取り扱い	P 7
・2025年強化選手選考会参加資格	P 8
・2025年選手強化合宿（国内）実施の取り扱い	P 12
・2025年ナショナルチーム各種研修会開催予定について	P 13
別添資料① 2025年ナショナルチーム編成数	P 14
別添資料② 2025年世界選手権大会個人戦参加資格及び競技システムについて	P 15

※WKF 作成資料

QUALIFICATION AND COMPETITION SYSTEM (PHASE 2 - FINAL PHASE)

KARATE WORLD CHAMPIONSHIPS -INDIVIDUAL WORLD CHAMPIONSHIPS-

公益財団法人全日本空手道連盟基本理念

1. 空手道を通して、感動、喜び、成長を体現する
2. 空手道の健全な発展と普及を追求し、生涯空手を目指す
3. もって、国民の心身の錬成に寄与する

ナショナルチーム基本方針

1. 指導者心得

- (1) 強固な日本チームを育成するため選手との一体感（連帯意識）を高める
- (2) 一貫した指導体制を構築するためのコーチ会議および講習会等への参加を積極的に行い自身のスキルアップを目指す
- (3) 常に公平・公正であることを第一義とし、信頼される組織を構築する姿勢を貫く
- (4) 情報戦略を強化し、世界先端のレベルを維持する強化体制を目指す
- (5) 医科学支援体制の充実を図り、選手がベストコンディションで活動できる環境を目指す
- (6) 「必ず結果を出す」との強い信念を持ち、選手と共に成長する指導体制を推進する

2. トップアスリート心得

- (1) 礼節（言葉遣い・態度・挨拶）を重んじること
- (2) 道徳心（倫理・正義）を重んじること
- (3) 高い志を持ち続け成長すること
- (4) 志を達成するため情熱ある行動に努めること
- (5) 必ずできると信じて最後まで諦めない精神力を培うこと
- (6) 前向きな姿勢（プラス思考）がチーム全体の力となるように努めること
- (7) 人を思いやる優しさ、素直さを持つように努めること
- (8) 創意工夫の大切さを理解し、思考力・人間力を高めること

ナショナルチーム強化方針

日本代表選手は「強い空手」を目指す

「強い空手」を実現するために、豊富な練習とフィジカル強化の徹底を図り自信を身に付ける。
ナショナルチームは世界に通用するシニア選手の強化を第一とし、続いてU21、ジュニア、カデットの強化活動を計画的に実行する。

<組手>

- (1) 必ず勝つという強い信念の下、得意とする技を自信を持って戦う姿勢を貫く。
- (2) 先の先の組手を心掛け、先取することを基本として積極的な試合展開をする。
- (3) 直線的攻撃力を最大限に強化し、かつ柔軟な対応力を磨く。
- (4) 日本人特有の正確な技、我慢強さを最大の武器として戦う。
- (5) 空手母国日本代表選手として誇りを持ち最後の最後まで「正々堂々」と戦う。

<形>

- (1) 伝統的な無駄のない動きが日本の強さであり、技術とフィジカルの融合を行う。
- (2) 強靱な下半身と体幹を作り上げ、上肢との一致を行う。
- (3) 日本代表としての自覚と覚悟を持ち、メンタルをコントロールし、どんな状況でも自分を出せる一貫性を身に付ける。
- (4) 空手の歴史、文化を学び、形（技）の意味を理解した演武を行う。
- (5) 上記（1）～（4）を強化し、全種目優勝を達成し世界の模範となる。

選手強化委員会の構成と任務（26名）

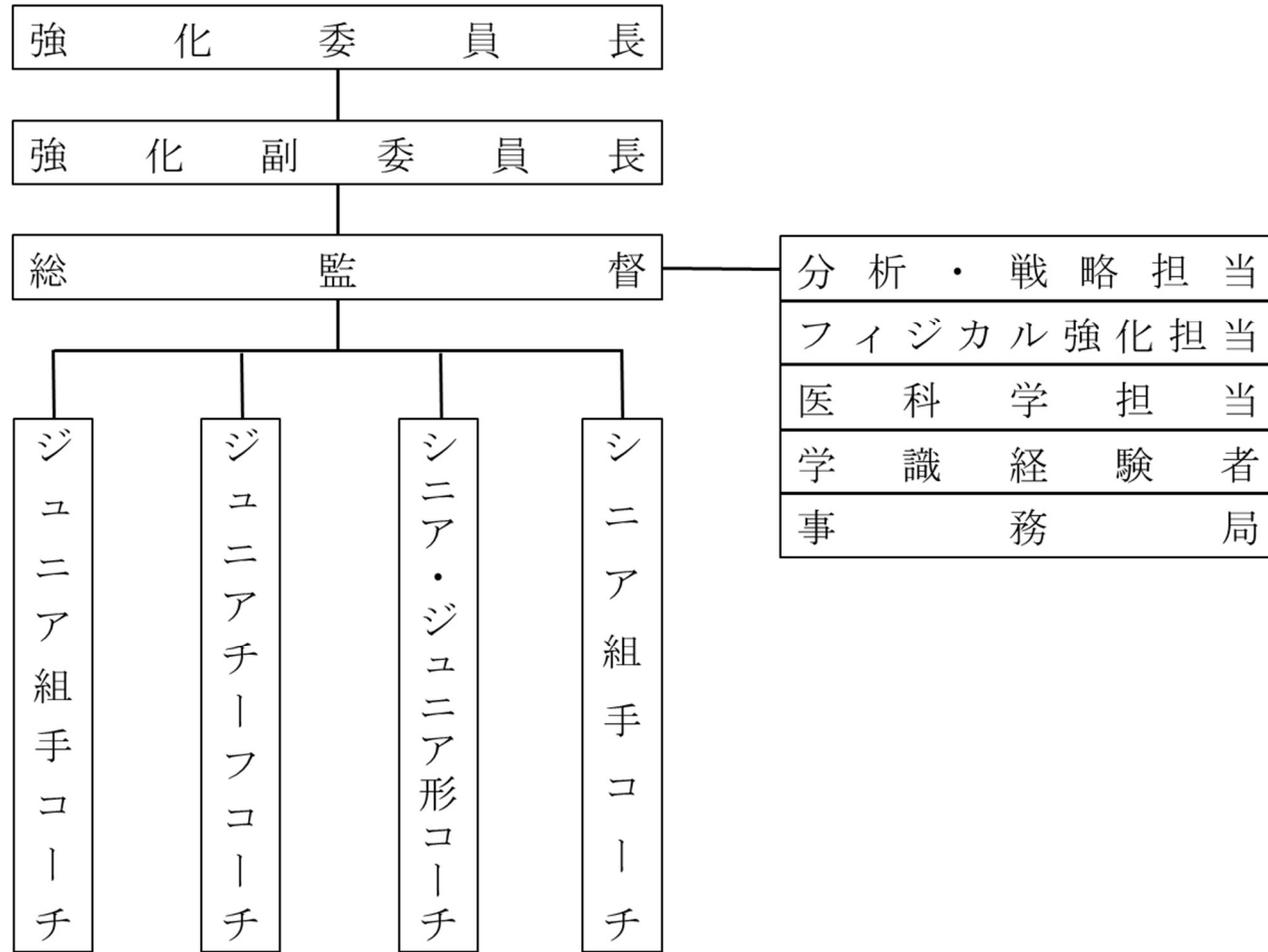
※2025年6月開催の理事会まで

強 化 委 員 長	谷崎金光	男性 18 名 女性 8 名
強 化 副 委 員 長	佐藤映里（シニア組手兼務）	
総 監 督	松元和昭	
フ ィ ジ カ ル 強 化 担 当	椎名志津男	
分 析 ・ 戦 略 担 当	亀山歩、大徳紘也、古川哲也、細矢真人、大木格	
シ ニ ア 組 手 コ ー チ	崎山幸一、稲田保久、亀山歩、松久功、玉井祐美、新井彩可	
ジ ュ ニ ア チ ー フ コ ー チ	細矢真人	
ジ ュ ニ ア 組 手 コ ー チ	志水亮介（シニア組手兼務）、永木伸児（シニア組手兼務）、荒賀知子	
シ ニ ア ・ ジ ュ ニ ア 形 コ ー チ	古川哲也、土屋秀人、雨宮さゆり、大木格（ジュニア）、清水由佳（ジュニア）	
医 科 学 担 当	鈴木浩司、安東映美、工藤裕仁、古川茜、大徳紘也	
学 識 経 験 者	村田利衛	
事 務 局	小池康子（事務長）、新井彩可（シニア事務次長）、大木格（ジュニア事務次長） 大徳紘也（シニア、ジュニア事務次長）	

※P・D・C・A（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）の重要性。

※大会・合宿実施後、担当コーチ等からの意見を踏まえ（評価）次回に繋ぐ。

選手強化委員会組織図



2025 年ナショナルチーム選手選考（国内・海外）

選考区分	会場	期日	選考人数	選考委員
シニア強化選手選考会 (U21 含む)	全空連会館	2025. 2. 7～9	全体で 70 名以内	強化委員から 7 名以内を選出
ジュニア強化選手選考会 (カデット含む)	全空連会館	2025. 6. 27～29	各階級 1 名以内	
2025 年世界選手権大会 代表選手選考	別添資料②参照			—
2025 年第 21 回アジアシニア 選手権大会代表選手選考	2025 年 3 月 17 日時点の 世界選手権スタンディング日本人最上位の者			—
2025 年世界選手権個人戦 予選トーナメント	フランス	2025. 10. 17～19	別添資料②参照	—
プレミアリーグ大会（略称 PL）	—	—	—	選手強化委員会
シリーズ A 大会（略称 SA）	—	—	—	選手強化委員会

- ・ 組手及び形の選手選考は、「強化方針（P3 参照）」に沿って選出する。
- ・ 強化選手選考は選考会后、選考委員による選考会議で決定する（発表は後日とする）。

2025 年強化選手選考に係る免除選手の取り扱い

区分	免除対象者	摘要
シニア	①2024 年第 1 回ワールドカップ優勝チームメンバー、ただし団体形は同一メンバーに限る。 ②2024 年強化選手で、2025 年 1 月 1 日時点の世界選手権スタンディング 32 位以内、ただし上位 2 名とする（同カテゴリーのみとし、繰り上げはしない。）	2024 年強化選手のみ該当とする。
U21	第 13 回世界 U21 選手権大会メダリスト ※ただし 2024 年に引き続き 2025 年 9 月 30 日現在 U21 で、かつ 2024 年と同カテゴリーの選手のみ	2024 年強化選手のみ該当とする。
ジュニア カデット	なし	—

2025年シニア強化選手選考会参加資格

※大会開催日程によって変更の可能性があります。

個人組手、個人形について

以下（１）～（４）の条件をすべて満たす者。

- （１） 2024年度本連盟の会員であり、次年度も登録する意思のある者
- （２） 2025年9月30日現在18歳以上の者
- （３） 全空連公認段位（初段以上）を取得している者
- （４） 以下①～⑨のいずれかを満たす者
 - ① 2024年度シニア強化選手、2024年度ジュニア強化選手で強化委員会が認めた者
 - ② 第52回全日本選手権大会の個人戦ベスト8までの入賞者
 - ③ 第3回全日本体重別選手権大会各階級3位までの入賞者
 - ④ 第78回国民スポーツ大会空手道競技会の各種目3位までの入賞者
 - ⑤ 第68回全日本学生選手権大会 Division I 組手ベスト8、形3位までの入賞者
 - ⑥ 第4回全日本実業団選手権大会個人組手ベスト8、個人形3位までの入賞者
 - ⑦ 第44回全国高等学校選抜大会個人形、個人組手推薦出場者
 - ⑧ 令和6年全国高体連空手道専門部代表選手
 - ⑨ 各地区協議会、各競技団体、各会派団体より以下の基準に基づいて推薦された者

※各地区協議会、各競技団体、各会派団体は、各団体の全国レベルの大会において優勝、準優勝、もしくはこれに準ずる成績を収めた者を推薦することができる。推薦人数は、次表「シニア」に該当する組手20名（各階級2名以

内) および個人形男女各2名以内とする。

カテゴリー	シニア	
性別	男子	女子
組手	- 60kg級、- 67kg級 - 75kg級、- 84kg級 + 84kg級	- 50kg級、- 55kg級 - 61kg級、- 68kg級 + 68kg級
組手	個人形	個人形

男子団体形・女子団体形について

以下(1)～(3)の条件をすべて満たす者。

- (1) 2024年度本連盟の会員であり、次年度も登録する意思のある者
- (2) 2025年5月22日現在、チームメンバー全員が16歳以上の者
- (3) 全空連公認段位(初段以上)を取得している者

※チーム単位でのエントリーを可能とするため、団体(各地区協議会、各競技団体、各会派団体)からの推薦は必要ありません。

2025年ジュニア強化選手選考会参加資格

※大会開催日程によって変更の可能性があります。

【カデット・ジュニア共通必須事項】

- 1、2024年度に引き続き2025年度も本連盟の会員登録を継続する意思がある者
- 2、全空連公認段位（初段以上）を取得している者

カデットについて

2025年9月開催予定「第23回アジアカデット選手権大会」開催日初日時点で、14歳～15歳で、次の（1）～（4）のいずれかを満たす者

- （1）2024年全空連ジュニア強化選手で強化委員会が認めた者
- （2）令和6年度第32回全国中学生空手道選手権大会の個人形5位・個人組手5位までの入賞者
- （3）令和6年度第19回全国中学生空手道選抜大会の個人形5位・個人組手5位までの入賞者
- （4）各地区協議会から次表の基準に基づいて推薦された者

※各地区協議会は、地区協議会の大会において優勝、準優勝、もしくはこれに準ずる成績を収めた者を推薦することができる。推薦人数は、次表「カデット」に該当する組手18名（各階級2名以内）および個人形男女各3名以内とする。

カテゴリー	カデット	
性別	男子	女子
組手	- 52kg級、- 57kg級 - 63kg級、- 70kg級 + 77kg級	- 47kg級、- 54kg級 - 61kg級、+ 66kg級
形	個人形	個人形

ジュニアについて

2025年9月開催予定「第23回アジアカデット選手権大会」開催日初日時点で、16歳～17歳で、次の(1)～(9)のいずれかを満たす。

- (1) 2024年全空連ジュニア強化選手で強化委員会が認めた者
- (2) 第52回全日本空手道選手権大会の個人形、個人組手5位までの入賞者
- (3) 第3回全日本体重別空手道選手権大会各階級3位までの入賞者
- (4) 令和6年度第32回全国中学生空手道選手権大会の個人組手5位・個人形5位までの入賞者
- (5) 令和6年度第78回国民スポーツ大会空手道競技会の少年男女組手3位・少年男女形3位までの入賞者
- (6) 令和6年度第51回全国高等学校空手道選手権大会の個人形5位、個人組手5位までの入賞者
- (7) 令和6年度第44回全国高等学校空手道選抜大会の個人形3位、個人組手3位までの入賞者
- (8) 令和6年度第44回全国高等学校空手道選抜大会個人形・個人組手推薦出場者
- (9) 高体連一次選考会で選出された者

カテゴリー	ジュニア	
性別	男子	女子
組手	- 55kg級、- 61kg級 - 68kg級、- 76kg級 + 76kg級	- 48kg級、- 53kg級 - 59kg級、- 66kg級 + 66kg級
組手	個人形	個人形

※ジュニア男子団体形、ジュニア女子団体形の選考は実施いたしません。

2025 年選手強化合宿の取り扱い

区 分	会 場	期 間	練習テーマと強化策
シニア (U21 含む)	全空連会館	4 月 25～27 日 7 月 11～13 日 9 月 19～21 日 第 4 回合宿 (未定)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> (1) 技の正確さ (2) 先取するための積極性 (3) 技の連続性 (4) フィジカル強化 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="margin-left: 10px;">PDCA 検証</div> </div> <p>※次回の強化合宿に参加できる選手の選定を実施</p>
形合宿	全空連会館	未定	(1) 立ち方 (2) 緩急 (3) フィジカル強化
ジュニア (カデット含む)	全空連会館 全空連会館	7 月 22～24 日 8 月 26～28 日	※ジュニア強化はシニアと同様の強化を図り一貫した指導体制を構築する。

- ・ 上記日程の他に、組手（男・女）は必要に応じて東日本及び西日本地区各拠点で合宿を行う。
- ・ 練習テーマと強化策を基に、次回以降の合宿参加への人数を絞る。
- ・ メダル獲得有力候補選手を選抜し、海外遠征合宿を行う。
- ・ 体力測定を実施し、基礎体力の成果検証を行う。
- ・ 地域における国民スポーツ大会へ向けての競技力向上のため、必要に応じて合同練習会等を実施する。

※強化合宿を通じてチームの結束・連帯を強化する

2025年ナショナルチーム各種研修会開催予定について

選手・強化委員むけ研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）
 - ・空手アナリストによる競技力向上研修会（合宿開催時）
 - ・インテグリティ研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
 - ・アンチ・ドーピング研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
- ※地域競技力の向上は、ナショナルチーム競技力向上の土台となる観点から、ナショナルチーム選手の所属団体からの国民スポーツ大会並びに全日本選手権大会の参加を推奨する。

強化委員むけ研修（予定）

- ・国際審判員によるルール研修会（合宿開催時またはオンライン）
- ・空手アナリストによる競技力向上研修会（合宿開催時）
- ・インテグリティ研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）
- ・アンチ・ドーピング研修会（合宿開催時またはオンライン、資料配布等）

※上記ほか、必要となった際に随時各種研修会を開催予定。

別添資料①

2025年ナショナルチーム編成数

カテゴリー	人数
シニア・U21	70名以内
ジュニア・カデット	23名以内

※ジュニア男子団体形、ジュニア女子団体形メンバーは高体連に選考をしていただきます。

※ジュニア男子団体形、ジュニア女子団体形メンバーはナショナルチーム選手ではありませんが、日本代表として国際大会に派遣を行います。

別添資料②

2025 年世界選手権大会個人戦参加資格及び競技システムについて

※WKF のホームページに掲載されている下記資料をご参照ください（英文資料のみ）。

QUALIFICATION AND COMPETITION SYSTEM (PHASE 2 - FINAL PHASE)
KARATE WORLD CHAMPIONSHIPS -INDIVIDUAL WORLD CHAMPIONSHIPS- 2025

